

はじめに

筑波大学大学院社会人のための博士後期課程「早期修了プログラム」は、平成19年度よりビジネス科学研究科、数理物質科学研究科、システム情報工学研究科の3研究科体制でスタートし、平成20年度からは生命環境科学研究科も加わった4研究科体制にて実施し現在4年目を迎えている。また、平成19～21年度の3年間は文科省特別支援教育プログラムとして認定され、特別教育研究経費の支援を受けたことにより本プログラムの実現が大きく進んだことに対して、この場をお借りして心より御礼申し上げたい。

本プログラムは、企業や公的機関の研究所等において十分な研究業績を挙げている社会人を対象に、8項目の達成度評価を経ることにより、標準修業年限が3年間である博士後期課程を最短1年で修了し、課程博士号を取得させる教育プログラムである。

この報告書は、平成19～21年度に実施された本プログラムの内容と実績についての報告書「社会人のための博士後期課程 早期修了プログラム成果報告書」の要約版である。全体は3章からなり、各章は本文と関係資料から構成されている。第1章では、早期学位取得への社会的ニーズ・要請について述べる。本プログラム立ち上げの起点となる社会的ニーズ・潜在的要請について報告する。第2章では、早期修了プログラムの概要について述べる。達成度評価システムや外部評価等早期修了プログラム全体について説明する。本プログラムでは達成度評価システムを導入し、3年制博士後期課程と同等の学位の質を保証していると同時に、学外の評価委員から構成される外部評価委員会ならびに外部評価専門委員会に評価を委託し、各年度ごとの各研究科・専攻でのプログラム実施状況および早期修了プログラム全体への外部評価を受けることにより、継続的改善を行った。第3章では、早期修了プログラムの履修方法・履修管理について述べる。本プログラム入学前に行われる履修審査から、博士学位取得までの流れについて説明する。

本プログラムは、現在までほぼ順調に実施され、平成19～21年度の間に57名の博士号早期取得者を社会に送り出すことができた。この背景には、早期修了プログラムに携わる関係各位の多大な御尽力・御支援があり、本報告書を出すにあたって厚く御礼申し上げたい。

社会人のための博士後期課程早期修了プログラム
運営委員会委員長

村上 浩一